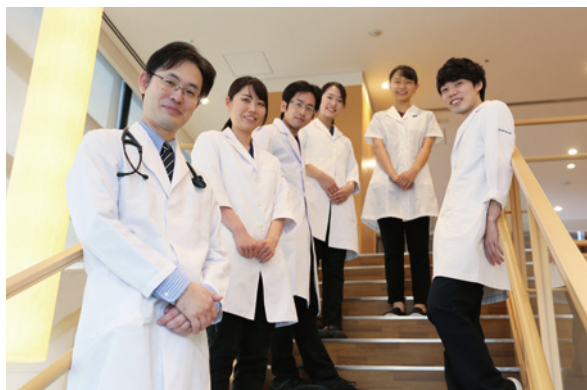




12

京都府立医科大学附属病院

世界トップレベルの
医療を地域へ

京都府立医科大学附属病院の起源は、明治5年に京都府民の寄付により京都東山の青蓮院内に開かれた療病院に遡ります。以来、世界トップレベルの医療を地域へ還元することを目的に教育・研究・診療に従事してきました。

その理念は変わることなく受け継がれ、現在では特定機能病院として、各診療科を中心に高度で専門的、かつ安全な医療を提供しています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方 針	大学病院から研修をスタートするプログラムです。豊富な指導体制の下、まずはじっくりと学びます。1年次の特徴として内科、救急のほかに麻酔科2ヶ月間も必修科目となっていることがあげられます。2年次は協力病院または大学病院で研修します。
特 徴	大学病院と地域第一線の市中病院を組み合わせた研修で、医師としての総合力・基盤を培います。救急研修は、大学病院でのER型の救急外来での研修を基本とし、協力病院の救命救急センターなどで3次救急の研修も可能です。将来のキャリアプランに応じた研修が可能です。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急 ※うち4週は、救急協力病院で研修可能		麻酔科		必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から4週ずつ選択	
2年次	必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から4週ずつ選択		救急	地域医療		選択科目 ※2年次たすきがけ協力病院で研修する場合は、たすきがけ協力病院のスケジュールにより異なります。						
プログラム責任者		福井 道明 (内分泌・代謝内科学教授)										

▼ 募集要項 (2023年度採用)

採用予定数	63名	出 願 期 間	令和4年7月1日(金)～7月15日(金)
		試 験 日	令和4年7月31日(日) (ただし、31日に受験が困難な場合は、令和4年8月17日(水)の予備日に受験することができる。)

▼ 待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員		
給 与	1年次 235,000円/月 2年次 235,000円/月		
手 当	副直手当 15,700円/回 その他、救急勤務手当、時間外勤務手当、新生児担当医手当、通勤手当、特殊勤務手当を実績に応じて支給		
勤務時間	8:30～17:15		
休 暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):10日 夏季休暇:5日(7月～9月の間で取得可能)		
社会保険	健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険		
当直/副直	当直	なし	副直 4～5回程度/月
宿 舎	なし		
その他設備	研修医室(研修医ひとりひとりに専用デスク設置) iPadmini 貸与 本学附属図書館 Medline等文献データベースあり 学内保育所、病児保育室あり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	病院管理課総務調整係	担当者名	鈴木 和夫
電話番号	075-251-5233	Eメール	sotsugo@koto.kpu-m.ac.jp